

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	緑を楽しむ講座 柏 「江戸の中山道」 ～日本橋から本郷へ～		
開催日時	2023年5月6日（土）10時～15時		
開催場所	東京都中央区日本橋～文京区	一般参加者	22名

活動概要

先月実施された第1回の講座が好評で申込者が多かったため、急遽追加の講座を実施した。家康ブームに乗り、家康の江戸の町づくりをテーマに日本橋から本郷までの中山道を歩きながら街路樹を楽しむ企画とした。先週実施予定であったが雨天のために延期し、本日実施の運びとなった。東京駅日本橋口に集合。2班体制で行動する。

家康が江戸に入封して、直ぐに取り掛かったのは下記の5点。

1. 人口百万人を有する機能的な江戸の街を作る
2. 街道の整備（五街道）、一里塚の設置
3. 水運と水道の整備・・・埋め立てと利根川の東遷、荒川の西遷、神田上水、玉川上水
4. 一国一城令
5. 貨幣制度の推進

上記のような事を話しながら、中山道のスタート地点日本橋へと向かった。

街道整備では当時の並木道の効用と合わせて、現在の街路樹について説明。中央区ではシナノキ、プラタナス類、ハナミズキ、サクラが多いが、日本橋周辺ではソメイヨシノ、スズカケノキ、ケヤキ、イチョウ、クスノキが目立つ。

前はベニシャリンバイが満開であったが、今回はクスノキの小さな花が咲き誇り、更にセンダンの木にも薄紫色の花が満開で目を楽しませてくれた。一週間の経過で季節の花がこうも変わるのかと驚かされた。

日本橋から神田に抜ける中山道では丁度、江戸三大祭の一つ、神田祭りの準備で忙しい。日本橋を通り、三越本店の屋上庭園を巡り、皇居と同じ標高であることやその植生を庭園にしていることを説明。ここで昼食をとる。

神田明神を巡り、最後に湯島聖堂へ。ここで楷書の由来となったカイノキ（楷の木）や珍しいシロマツ（白松）などを見る。シロマツの松ぼっくりを披露してアカマツやクロマツとの違いを説明。ここは儒教を広めた孔子廟であるので中国原産の植物が多い。

初夏の陽気で少々汗をかきながらも、無事に終了した。終了時間は14時45分。



F I C チーフ講師：風見信昭、アシスタント講師 西元生